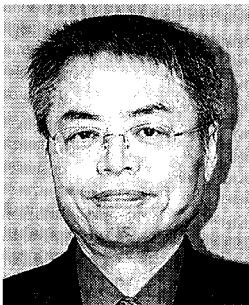




いけうち 池内 じゅんこ 淳子さん
(女 優)

抗がん治療を続けながら舞台に立ち、さわやかな笑顔は病気の影を感じさせなかつた。芯の強い女優だった。



ひめの まさよし
姫野 雅義さん

地域主権訴え

地域主権訴え可動堰「NO」

「こんなにやらせていただ
き役者みよりに戻まる。こ
れからも一生懸命に務めてい
きたい」。今年4月、福岡市
屋公演を終え441回に達し
たが、この間、肺腺がんの再
発を隠し舞台を続けていた。
かつぽう着姿のおかみさん

可動堰「NO」
「NO」という民意を示し、事業凍結にこぎ着けた。長くそのままの状態が続いたが、今春、前原誠司国土交通相(当

地域のことは地域が決める
「地域主権」の先駆けだった。
滋賀県の嘉田由紀子知事は、
ともに第十堰近くを歩いた日
に思いをはせ「私にとって出
る姿が共感を呼び、小さな運動
はやがて大きくなうねりに。

（編集委員 川上寿敏）
見守り続けるに違いない。
かかな流れがあつた。川を愛しながら、ゆったりと過ごすのがこだまし、姫野さん。これからもその行く末を見守る。これからもその行く末を見守り続けるに違いない。



こばやし つかさ
小林 司さん
(精神科医)

士の交流の場を開いた。主宰者であり、かつ医師でもありながら、クラブ発足当初から「（自分のことを）先生と呼

ホームズを愛した論理派

つながりが少なかつた日本における「シャーロッキン」のあり方を大きく変えた。本業は精神科医。専門は偶々した論理派

も欧米のような愛好家団体を、と帰國後に立ち上げたのがホームズ・クラブだった。人工言語「エスペラント」の研究者としても知られ、日本エスペラント学会の理事などを務めた。太平洋戦争の終結直後、日本における原爆被害の実態をエスペラントによって海外に知らせようと、命懸けで取り組んだという。

一見、共通項のないようみえるホームズとエスペランストだが、「どちらも論理的で、かつ国の垣根を越えて人々つながる手段になりうるもの。小林さんの中では相通じるものがあったのではないか」と。ホームズ・クラブに定期から参加する、翻訳家の魯雅通さんはこう振り返る。

病を隠して続いた舞台

の博多座で晩年の代表作、有吉佐和子原作「三婆（さんば）」で出演400回のあいさつをした。5月半ばの名古

役、つやのある若者役、何をやつてもがまになつた。三越本店の店員などを経て新東宝に入り1955年に映画デビ

素顔の池内さんは謙虚で嫌みがなかつた。それでいて人に染まらない「自分」を持つていた。「プレッシャーがあ

に喜んでいた。今は本当に「空の
のかあさま」になってしま
た。 1992年9月26日没、76歳